

家族をひらく

NPO法人 ニュースタート事務局

事務局長 戒田 優

仕事をもたず、職業訓練にも参加していない「ニート」や、学校や会社に行かない「引きこもり」状態の若者たち。その数は数百万人に達するといわれ、大きな社会問題になっていきます。彼らを単なる怠け者や脱落者と見なす風潮もありますが、彼らこそ現代の閉鎖的な家族や社会、働き過ぎの労働環境など、「生き急ぎすぎ」の世の中の歪みに敏感に反応している存在だと思えてなりません。

ニュースタート事務局（本部：千葉県浦

ります。一人ひとりの若者の状態に合わせて慎重に働きかけ、1年間の訪問活動で9割程の若者たちがアクションを起こしています。

動き始めた若者たちの選択肢のひとつが、「若衆宿」という共同生活の場で、約100名の若者たちが共同生活をしています。共



ニュースタート事務局が運営する保育園

安市)は、「家族をひらく」を基本コンセプトに、家族だけで自分の子どもを育てようとして、「私たちの世代が次の世代の若者たちを育てる」と考え、若者の再出発を支援しています。相談内容は不登校、学校中退、就職拒否、家庭内暴力、引きこもり等様々です。問題解決の第一歩は親が問題の先送りを止め「家族をひらいて」他者の力を借り、我が子を動かす覚悟を決めることです。親の覚悟が決まれば、子どもを動かす「レンタルお姉さん・お兄さん」たちが訪問活動に入

同生活の特徴は押し付け的なルールがなく、それぞれの場で直面した問題を若者たちで解決するところです。人間関係は「習うより慣れる」。核家族の体験しかない若者たちは、同世代との自由でゆるやかな共同生活で学ぶことが多く、成長も早いものです。同時期に、若者たちに必要なのは情報で

はなく、多様な体験が自分の未来の発見に繋がるという考えから、複数の仕事から体験できる場として、老人介護デイサービス、保育園、



戒田氏は、今秋より活動の場を地元愛媛に移し、若者の支援活動を行っています。

レストラン、喫茶店、パン屋、IT関連事業、ユースホステル等様々な自主運営をしています。その他にも、高校卒業資格が取得できるニュースタート高等学院や、ニート対象の人材派遣株式会社スローワークも運営しています。すべての運営を元引きこもり・ニートの若者たちがしていますが、なんとか維持できるのも不思議なことです。

その他にも若者たちの企画するプロジェクトが、泉のごとく湧いてきます。本年6月には、松山市のアマチュア劇団みかん一座とのコラボレートによる、ミュージカル「夢へんろ〜どんな時も希望をすてず〜」の上演が東京と松山で実現しました。

ニュースタート事務局は、簡単に言えば、若者たちの再出発の「場作り屋」なのです。まちづくりの原点は、如何なる人をも肝要に受け入れ、活躍できる多様な場を持ち、支え合う共同体であると思います。